



## CONTENTS

予算の概要

02

幸せ実感 ～こころ豊かに暮らせるまち～

04

幸せ実感 ～にぎわいあふれるまち～

05

幸せ実感 ～100年続くまち～

07

## 今年度予算の特徴

平成30年度は、「ハートフルタウン笛吹」～優しさあふれるまち～を実現するため、「幸せ実感 ところ豊かに暮らせるまち」「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」「幸せ実感 100年続くまち」の3つの基本目標を基に、27事業を重点的に取り組んでいきます。

一層の行財政改革に取り組みながら、行政ニーズを的確に捉えた新たな事業展開を行うための予算編成を行いました。その結果、一般会計予算においては、前年度から5億7,485万1千円少ない総額305億3,858万2千円の当初予算を組むこととなりました。

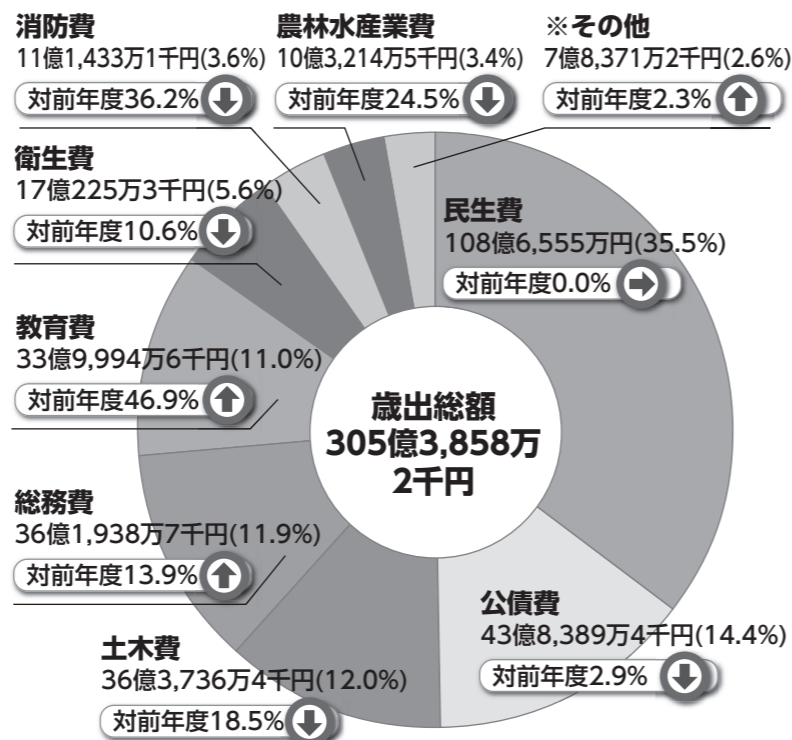
### 歳出（性質別）

\*経費を人件費や物件費などの性質によって分類

区分	予算額	構成比 (対前年度)
<b>義務的経費</b>		
人件費 議員や委員の報酬、 職員の給与や諸手 当に使われる費用	46億 2,788万 1千円	15.1% (0.0%→)
扶助費 社会福祉や老人・児 童福祉などに使わ れる福祉的な経費	60億 9,853万 3千円	20.0% (4.3%↑)
公債費 市の借金 の返済に使う費用	43億 8,389万4千円	14.4% (2.9%↓)
	151億 1,030万8千円	49.5% (1.3%↑)
<b>投資的経費</b>		
普通建設補助 国から補助を受け て実施する道路や 学校などの施設建 設に使う費用	22億 897万 8千円	7.2% (38.8%↑)
普通建設単独 市独自の財源で実 施する建設事業に かかる費用	23億 9,103万 5千円	7.8% (9.4%↓)
災害復旧費 災害復旧にかかる 費用	4万9千円	0.0% (0.0%→)
	46億 6万2千円	15.1% (1.5%↑)
<b>その他</b>		
繰出金 一般会計から特別 会計へ基準に基づ き繰り出す費用	25億 9,606万 7千円	8.5% (2.4%↓)
物件費 消費的性 格を持つ市の経費 に使う費用(賃金・ 旅費・需用費など)	45億 5,640万 5千円	14.9% (1.1%↓)
補助費 各種団体に交付さ れる補助金、負担 金などに使う費用	31億 3,928万 6千円	10.3% (23.5%↓)
その他 その他費用	5億 3,645万4千円	2% (1.5%↑)
	108億 2,821万2千円	35.4% (2.8%↓)

\*経費を福祉や教育などの行政サービスの目的ごとに分類

### 歳出（目的別）



\*その他の内訳

商工費 3億5,436万円 対前年度5.3%↓	諸支出金 1億5,389万6千円 対前年度18.1%↑	労働費 1,279万7千円 対前年度0.0%→
議会費 2億3,261万円 対前年度6.4%↑	予備費 3,000万円 対前年度0.0%→	災害復旧費 4万9千円 対前年度0.0%→

○用語の説明

民生費	福祉や児童などに使われる経費
土木費	道路や公園、駅周辺整備などに使われる経費
公債費	市の借金の返済に使う費用
総務費	市庁舎管理、人件費、選挙などに使われる経費
衛生費	ごみ処理、環境、保健衛生などに使われる経費
教育費	幼・小・中学校、生涯学習などに使われる経費
農林水産業費	農業の活性化などに使われる経費
消防費	消防活動などに使われる経費
商工費	中小企業の支援や観光などに使われる経費
議会費	議会の運営に使われる経費

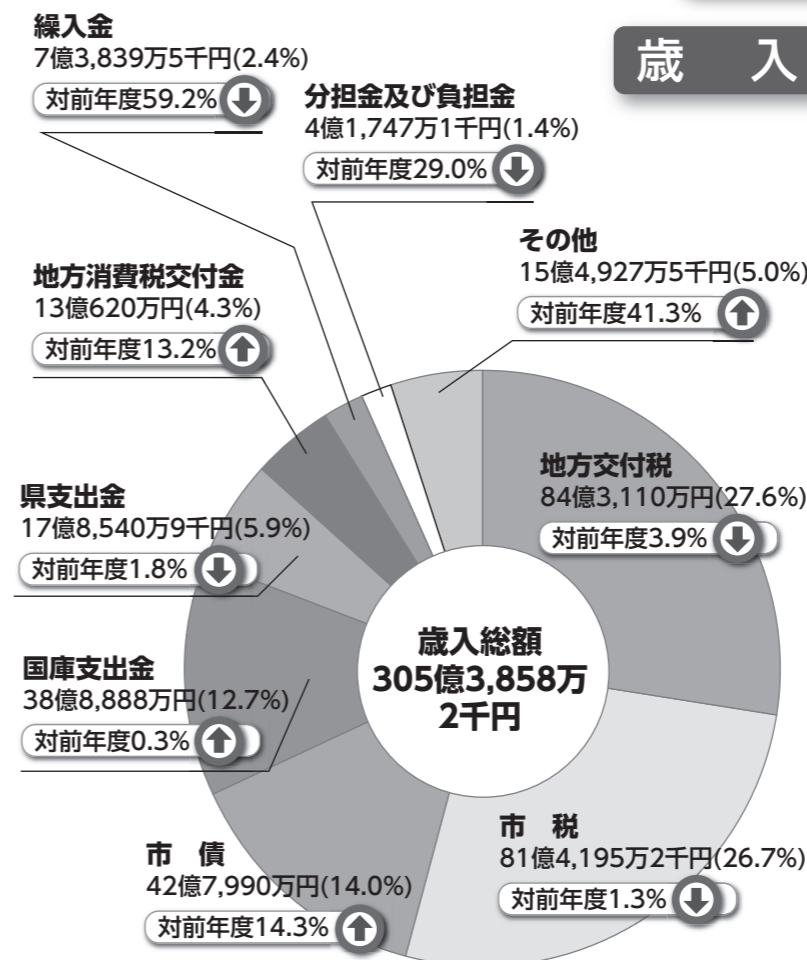
## 笛吹市は今年、 どんなことに お金を使うの？

平成30年度の一般会計予算総額は、1.8%減の305億3,858万2千円となりました。

皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われているのかをお知らせします。

### 歳入

○用語の説明



地方交付税	皆さんが国に納めたお金の一部が、地方公共団体の財政状況などに応じて配分されます
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です
国・県支出金	皆さんが国や県に納めたお金の一部が特定の目的を達成するために交付されます
その他税・交付金	皆さんが国や県におさめたお金の一部が、地方譲与税などとして交付されます
201億7,798万9千円(66.0%)	
市税	皆さんから笛吹市に納めていただく税金です
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です
繰入金	各種基金(貯金)を取り崩してお金を使います
使用料及び手数料等	市の施設の利用や証明書を発行する際にかかるお金です
103億6,059万3千円(34.0%)	

会計区分	30年度予算額	対前年度
<b>特別会計</b>	173億1,804万円	5.8%↓
国民健康保険特別会計	89億5,302万8千円	14.5%↓
介護保険特別会計	66億9,834万9千円	5.7%↑
介護サービス特別会計	1,343万3千円	29.3%↓
後期高齢者医療特別会計	14億8,840万円	5.5%↑
農業集落排水特別会計	5,131万8千円	17.7%↑
簡易水道特別会計	1,216万7千円	18.5%↓
笛吹市境川観光交流センター特別会計	5,430万円	16.3%↑
財産区	4,704万5千円	2.8%↑
<b>企業会計</b>	65億9,945万7千円	1.5%↓
水道事業	28億7,882万8千円	2.3%↑
春日居地区温泉給湯事業	7,561万7千円	11.9%↓
公共下水道事業	36億4,501万2千円	4.0%↓

特別会計や企業会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理を行う会計です。

平成30年度 一般会計予算 305億3858万2千円(前年度比1.8%減)

特別会計・企業会計予算

第二次笛吹市総合計画を策定し、基本構想に掲げた将来像の実現とそのため3つの基本目標の達成に向け、12の施策と35の取り組みの方向性により推進します。

平成30年度においては、1つ目の目標である「幸せ実感」を豊かに暮らせるまちを指し、少子高齢化対策として、子育てを支援する事業など8事業を、2つ目の基本目標である「幸せ実感」にぎわいあふれるまちでは、本市の基幹産業である農業、観光の活性化に関わる事業、雇用の安定化と創出に向けた事業、笛吹市の知名度を上げる事業など11事業を、3つ目の基本目標である「幸せ実感」100年続くまちでは、市民の安全と安心のための事業、市民が使いやすい市役所を整備する事業など8事業を重視し、新規に行う事業を含む195事業の中から27事業を重点事業として選定し、展開していきます。

では全体をカバーできず、学習効果が下がる恐れがあります。このため、英語に堪能な方を募り、ボランティアによる授業の補助を計画しています。この方式は、県内初の試みで、市内小学校での外国語活動をより効果的に行い学力の向上を図ります。

学校給食センター建設事業 (学校教育課)

12億6500万円 笛吹市の未来を担う子どもたちの心身の健全な発達のため、安全、安心な給食を安定して提供できるように石和学校給食センターの建設事業に取り組みます。

オリンピック・パラリンピック事前合宿等誘致事業 (生涯学習課)

611万6千円 タイ王国ウエイトリフティング協会と平成29年2月に基本協定を、12月には実施協定を締結しました。平成30年5月と7月にそれぞれ2週間程度市内に宿泊し、日川高校ウエイトリフティング場と、いちのみや桃の里スポーツ公園トレーニングルームで合宿を行う予定であり、スポーツ・文化を通じた交流を推進します。

「ハートフルタウン笛吹」の実現に向け3つの基本目標に基づき説明します 人のみがきあげ 1 幸せ実感 ~こころ豊かに暮らせるまち~

安心

安心して子どもを産み、子育てできる環境の充実を図るとともに、地域での支え合いを大切に、誰もが住み慣れた場所できいきと暮らせるまちをつくりま

そして、市民一人ひとりが希望を持ち活躍できる環境を通じて、心身ともに健康で、こころ豊かに暮らし幸せを実感できるまちをつくるため「幸せ実感 こころ豊かに暮らせるまち」を目標とします。

子育てしやすいまちづくり 子育て世代定住支援事業 (企画課)

新規

1100万円 移住や定住の促進を図るために、新たに住宅の購入を行う子育て世代に対し補助金を交付します。この補助金により、金利が有利な住宅金融支援機構の「フラット35」などの導入を進めることができる予定です。

体調不良児対応型 病児保育事業 (子育て支援課)

360万円

就園中の園児が保育園で体調不良となった場合に、保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な看護を行うことを目的に、看護師等を配置する私立保育園等に対して費用の一部を補助します。

学童保育クラブ事業 (子育て支援課)

184万8千円

利用希望者が急増している御坂学童保育クラブについて、御坂西小学校内に第5学童保育クラブを増設し、受け入れ児童の拡大を図ります。また、第4学童保育クラブとして利用している御坂保健センターの2階トイレの改修を行い、子どもたちがより快適に過ごせるように環境の改善を図ります。

「ハートフルタウン笛吹」の実現に向け3つの基本目標に基づき説明します 産業のみがきあげ 2 幸せ実感 ~にぎわいあふれるまち~

地域

地域の資源を掘り起こし、磨き上げることにより、農業や観光業の活性化を図るとともに、起業の促進や企業誘致を推進し、雇用の確保、多様な働き方が展開されるまちをつくりま

そして、国内外の人々が盛んに行き交い、本市の産業が活性化することで幸せを実感できるまちをつくるため「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」を目標とします。

新道峠展望台整備事業 (観光商工課)

1071万4千円

富士山の日本一の眺望エリアでの賑わいの創出と癒しの提供を目

多世代包括ケア情報クラウド 化推進事業 (福祉総務課)

155万6千円

多世代包括ケア情報クラウド化推進事業の中で進めている「子育て情報クラウド化推進事業」では、スマートフォンやタブレットで子育てに必要な情報を必要ときに受け取ることができる「ふえふき子育て広場」のアプリで配信し、登録した保護者が子どもの成長記録や乳幼児健診、予防接種などの管理等に利用できるようにしています。また、母子健康手帳の電子化も進めており「子育てしやすい笛吹市」を目指します。

人と文化を育むまちづくり 小学校外国語授業アシスタント事業 (学校教育課)

新規

128万円

新しい学習指導要領では、20年度には小学校3・4年生から外国語活動の授業を始めることとされています。本市の小学校においては、これに先駆けて移行期間である本年度から先行実施する方向で準備を進めています。授業時間の増加に伴い、従来のALT(外国語指導助手)を活用した授業



新道峠からの景色

的に新道峠を中心とした展望施設を整備します。平成30年度は、展望テラス等の実施設計、測量調査を行います。

戦国マンスリー事業 (観光商工課)

10月の1カ月間、戦国時代をテーマとした笛吹市秋祭りを開催することで、秋の誘客促進を図ることを目的とします。

10月の各週末には、民間企業等からイベントを募集し、民間が主体となったイベントを展開する予定です。秋祭りのフィナーレとして、平成30年度から秋季に「川中島合戦戦国絵巻」を開催し、県内外へ本市の秋の魅力を発信します。

「美り豊かなブランド農林業づくり」

新規 笛吹市、農業塾、運営事業

(農林振興課)

……785万円

市内の定年退職者を中心とした援農や就農希望者の掘り起こしや技術習得などのための指導、既存農業者向けの講習会、経営相談の実施を行い、担い手の育成に努めます。

また、経営が難しくなる高齢農家などを把握し、新規就農、規模拡大を目指す農業者をマッチングする「第三者継承」を支援します。さらに、GAP認証取得の支援、産地パワーアップ、経営強化支援を行うことで、「笛吹市農業塾」が日本一の果樹王国「ふえふき」の農業を支える方々のための環境整備に貢献し、市の農業情報発信の拠点となるよう支援します。

県営畑地帯総合整備事業

(農林土木課)

……1億2064万円

農業の生産、流通と農地農村環境の向上等につながる圃場整備や農道、水路等の改修のほか、近年、特に深刻となっている鳥

獣害防止柵設置などの農業基盤を整備するための事業です。平成30年度には、新規地区として境川町大窪地区を追加し、重点施策と位置づけ、市内5地区において畑地帯総合整備事業を実施します。

「活力ある地域経済づくり」

農村地域への産業の導入計画 策定事業 新規

(農林振興課)

……247万4千円

平成30年度は、新たな法律のもと、県の基本計画に即した「農村地域への産業の導入に関する実施計画」を策定します。

新たに策定する実施計画は、農地への無秩序な企業進出の抑制と農地の集団化や優良農地の確保との両立。また、地元雇用の創出と促進が重要となります。導入すべき業種の選定と併せ、ニーズに即した指定エリアの見直しも実施します。

企業立地促進助成事業

(観光商工課)

……2689万6千円

「農村地域への産業の導入に関する実施計画」のエリア見直しと連携しながら、市民の雇用拡

大、固定資産税の確保など、引き続き企業立地を促進します。また、山梨県と連携した、企業立地促進事業助成金制度および市独自の企業立地奨励金交付制度を活用し、農工団地への新規進出や事業拡大を支援します。

砂原橋および周辺道路整備事業

(土木課)

……2億5653万3千円



新砂原橋渡り初めで開催された綱引き大会

石和地区と八代・境川地区を結ぶ路線と、新山梨環状道路、笛吹八代スマートICと石橋農工団地とを結ぶ路線の整備を実施することで、市内の円滑な交流と、工業団地活性化の支援を目指

「将来を見据えた土地利用を推進するまちづくり」

都市計画マスタープラン見直し事業 新規

(まちづくり整備課)

……567万円

平成20年度に「笛吹市都市計画マスタープラン」を策定してから10年が経過し、平成30年度が見直しを行う中間年次にあたります。

策定時から、本市を取り巻く社会経済環境、生活環境にも大きな変化が生じており、新たに策定された「第二次笛吹市総合計画」に即し、現在改定が行われている「山梨県都市計画マスタープラン」や国および山梨県の都市計画に係る施策等の変更にも応じた、本市のまちづくりの指針となる「笛吹市都市計画マスタープラン」の見直しを行います。

「移り暮らしせる魅力あるまちづくり」

新規 ホームページリニューアル事業

(企画課)

……383万1千円

情報通信技術（ICT）を用いたスマートフォンなどの対応や、障がい者への配慮可能な機能を持たせたホームページのリニューアルを実施するとともに、市内外へ向けてシティブロモーション事業として情報収集および情報発信を戦略的に進めます。

地域おこし企業人事業 新規

(企画課)

……525万円

市のホームページリニューアルに合わせ、新たな笛吹市の情報発信の仕組みを構築するとともに、シティブロモーションを図るため民間企業の力を借りて情報発信力を強化します。

農産物等消費拡大宣伝事業

(農林振興課)

……696万4千円

農業を取り巻く環境が大き

「安全、安心で災害に強いまちづくり」

ハザードマップ作成事業 新規

(防災危機管理課)

……864万円

水防法の改定や、国や県の新たな想定最大雨量での浸水想定区域の公表により、市町村には利用者目線にたった「水害ハザードマップ」の作成が求められています。

このため、市では、想定される洪水予想に基づく情報伝達方法、洪水時の避難場所、避難ルートなどを記載した、今まで以上にわかりやすい「笛吹市ハザードマップ」を作成し、地域防災力の向上に努めます。

「将来を見据えた行財政づくり」

新規 笛吹みんなの広場活用事業

(政策課)

……552万1千円

笛吹みんなの広場は、笛吹市の玄関口であるJR石和温泉駅の南側に位置する2.5haの広さの1団の土地で、笛吹市の将来のまちづくりにとって重要な役割を担う土地であることから、土地の活用策を定め、具体的な事業化を図ります。



タイ王国トップセールス

変化し、農産物の産地間競争が激しくなる中、本市の恵まれた環境で生産され、安全、安心で、日本一の生産量と品質を誇る「もも」「ぶどう」を中心とした農産物の更なる消費拡大につなげるため、「笛吹産農産物」の魅力を国内外に広く発信していく必要があります。消費宣伝の手法であるトップセールスは、市長自ら赴くことで、相手方に「笛吹市」を、より強く印象付けることができ、農産物の販路拡大、観光宣伝等を行う上で、とても有効です。このことから、平成30年度も継続して、京浜、関西方面をはじめ、海外にも「笛吹産農産物」の魅力を発信します。

「ハートフルタウン笛吹」の実現に向け3つの基本目標に基づき説明します 基盤のみがきあげ 3 幸せ実感 ～100年続くまち～

民による主体的な活動の促進と、それを行政が支える体制を構築する中で、市民、事業者、行政が、それぞれの役割を自覚し力を合わせ、ともに考えともに行動し持続可能な地域活動を実現する協働によるまちをつくりまします。

市の行財政基盤は、財政的にも人事的にも弾力性が失われつつあります。行政ニーズに的確に対応するとともに、引き続き質の高い行政サービスを提供していくため、健全で身の丈にあった行財政改革に取り組みまします。

そして、豊かな自然環境と調和した都市としての姿を今後も保ち、災害や犯罪等の不安なく、安全、安心に暮し続けることができる環境を通じて幸せを実感できるまちをつくるため「幸せ実感 100年続くまち」を目標とします。



**労報橋および周辺道路整備事業**

(土木課)

……8500万円

笛吹市の玄関口である石和温泉駅と石和温泉郷を結ぶ沿線に位置し、今後交流の場となる「笛吹みんなの広場」周辺道路の整備を行い、交通の安全確保と、笛吹みんなの広場の利用度の向上とともに、観光の活性化に寄与する整備を行います。

平成29年度に労報橋の架け替えと南に向かう市道1-8号線、広場南側の市道1-5号線の改良を終え、平成30年度においても引き続き広場北側の市道1542号線の改良、広場東側の市道1053号線への歩道設置を実施し、広場周辺整備事業を進めます。

**有料指定ごみ袋補助事業**

(環境推進課)

有料指定ごみ袋については、ごみの減量を図る施策として平成29年4月から導入しました。

また、支援策として、乳幼児や障がい者、在宅の高齢者がいる世帯では、おむつの使用により、ごみ袋の使用枚数が多くなっていることから、負担軽減を目的に、有料指定ごみ袋の無料

配布も実施しています。

**「将来を見据えた  
行財政づくり」**

**市役所の総合案内の充実等事業**  
新規 (総務課)

……336万3千円

支所の取り扱い業務の見直しに伴い、来庁者の増加が見込まれる市役所本庁の総合案内を強化し、市民が利用しやすい環境整備に努めます。

**地域サポート職員設置事業**

新規 (総務課)

……1469万7千円

地域のサポート役として、行政経験豊かで地域事情に精通した再任用職員等を各支所に配置し、皆さんから親しまれ、気軽に相談に訪れることができる「地域に密着したサポートセンター」としての体制づくりを行います。

**庁舎等施設整備事業**  
新規

(管財課)

……3億9145万7千円

市民の皆さんが利用しやすい庁舎の環境づくりのため、本館および春日居支所駐車場の拡張整備などを行います。

**【まちづくりの方向性】**

本市の将来像の実現を目指すに当たっては、「人のみがきあげ」「産業のみがきあげ」「基盤のみがきあげ」をまちづくりの基本的な考え方とする中で、市民、団体、事業者、行政が基本的な考え方を共有し、ともにまちづくりを進めていくことが重要で、3つのみがきあげを通じ、まちの力を高めていくことが必要です。

また、人口減少が予想され、本市の財政運営が厳しさを増す中で、人や財源などの限られた資源を有効に活用していくことも必要です。

本市はこうした方向性に沿ってまちづくりを進めていきます。

